

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-528332(P2004-528332A)

【公表日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2004-036

【出願番号】特願2002-582954(P2002-582954)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 31/78

A 6 1 K 31/519

A 6 1 K 31/785

A 6 1 K 31/787

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 13/02

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 19/06

【F I】

A 6 1 K 31/78

A 6 1 K 31/519

A 6 1 K 31/785

A 6 1 K 31/787

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 13/02

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 19/06

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月29日(2005.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

尿酸またはその前駆体に結合する少なくとも1つのアミンポリマーを含む、通風を治療するための医薬組成物。

【請求項2】

尿酸に結合するポリマーが脂肪族アミンポリマーである請求項1記載の医薬組成物。

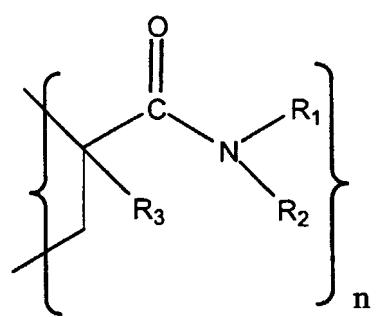
【請求項3】

尿酸またはその前駆体に結合するポリマーが、アミン、シアノ基、オレフィン、ホスフイン、アルシン、スルフィド、ジチオカルバメート、ニトロート、カルボキシレート、フェノラート、アセチルアセトネート、および水酸基からなる群より選ばれる置換基により置換される請求項1記載の医薬組成物。

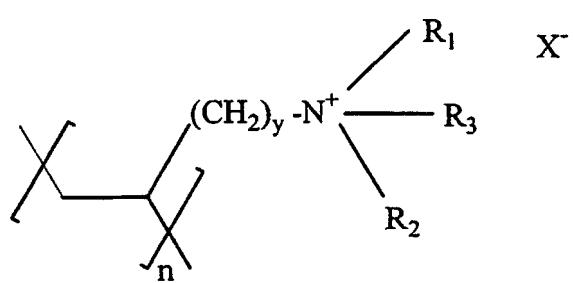
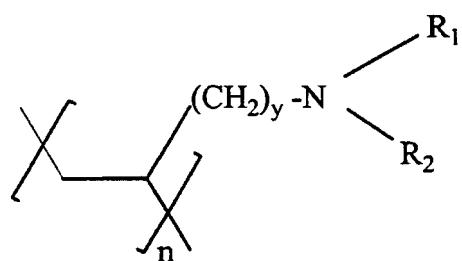
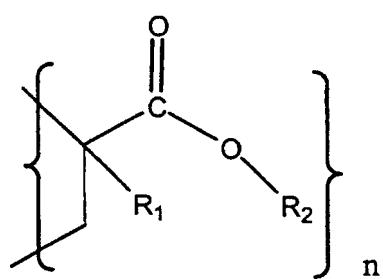
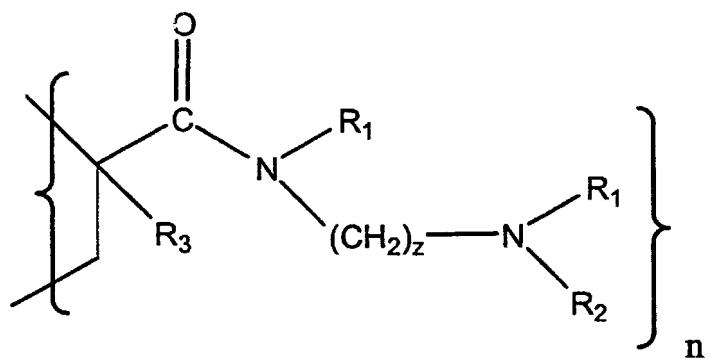
【請求項4】

ポリマーが、

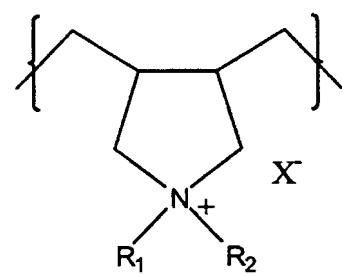
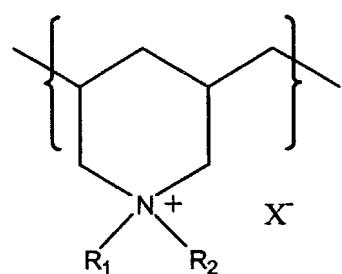
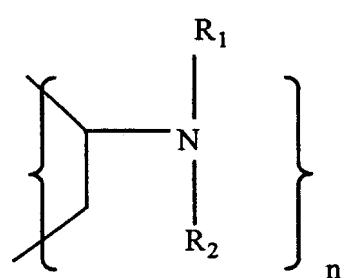
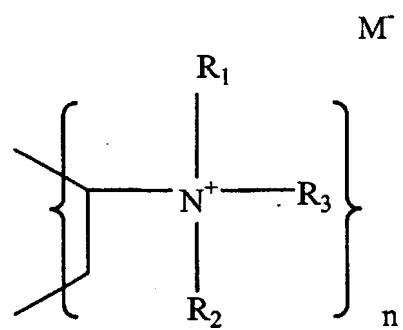
【化 1】



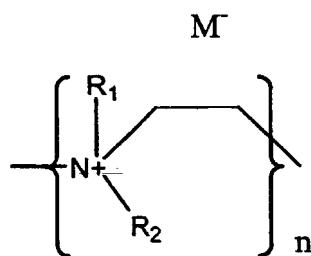
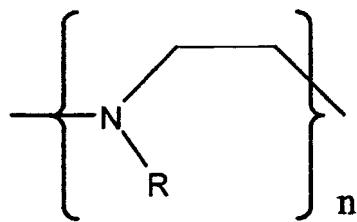
【化 2】



【化 3】



## 【化4】



式中、nは正の整数であり、yおよびzは1以上の整数であり、R、R<sub>1</sub>、R<sub>2</sub>およびR<sub>3</sub>が独立して、Hまたは置換もしくは非置換のアルキル基である、からなる群より選ばれる式を有する繰り返し単位ならびにその塩およびコポリマーにより特徴づけられる請求項1記載の医薬組成物。

## 【請求項5】

前記ポリマーが多官能性架橋剤により架橋される請求項4記載の医薬組成物。

## 【請求項6】

多官能性架橋剤が、モノマーおよび架橋剤の合わせた重量に基づいて0.5～25重量%の量で存在する請求項5記載の医薬組成物。

## 【請求項7】

多官能性架橋剤が、モノマーおよび架橋剤の合わせた重量に基づいて2.5～20重量%の量で存在する請求項5記載の医薬組成物。

## 【請求項8】

前記架橋剤がエピクロロヒドリンを含む請求項5記載の医薬組成物。

## 【請求項9】

ポリマーがホモポリマーである請求項5記載の医薬組成物。

## 【請求項10】

ポリマーがポリアリルアミンである請求項5記載の医薬組成物。

## 【請求項11】

ポリマーがポリジアリルアミンである請求項5記載の医薬組成物。

## 【請求項12】

ポリマーがポリビニルアミンである請求項8記載の医薬組成物。

## 【請求項13】

各式のR、R<sub>1</sub>、R<sub>2</sub>およびR<sub>3</sub>の少なくとも1つが水素である請求項4記載の医薬組成物。

## 【請求項14】

1つ以上の食事とともに投与される請求項1記載の医薬組成物。

## 【請求項15】

尿酸またはその前駆体に結合する少なくとも1つのポリマーを含む、尿酸レベルを低減

するための医薬組成物。

【請求項 16】

尿酸に結合するポリマーが脂肪族アミンポリマーである請求項15記載の医薬組成物。

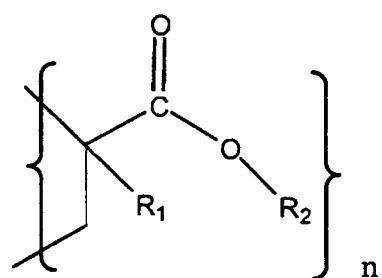
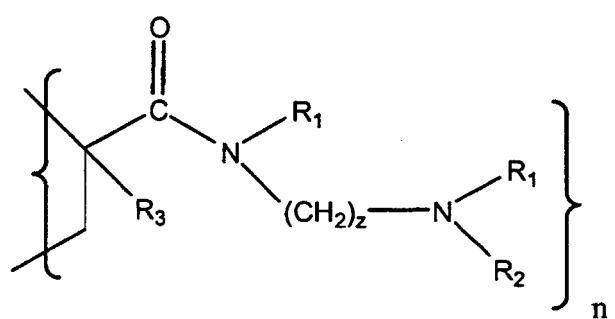
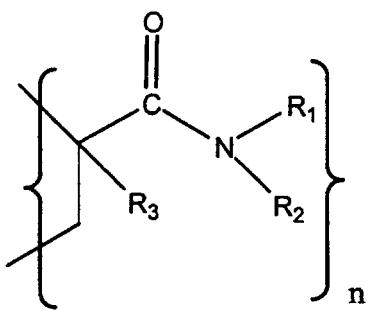
【請求項 17】

尿酸に結合するポリマーが、アミン、シアノ基、オレフィン、ホスフィン、アルシン、スルフィド、ジチオカルバメート、ニトレート、カルボキシレート、フェノラート、アセチルアセトネート、および水酸基からなる群から選ばれる置換基により置換される請求項15記載の医薬組成物。

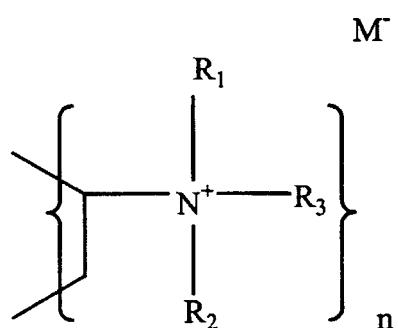
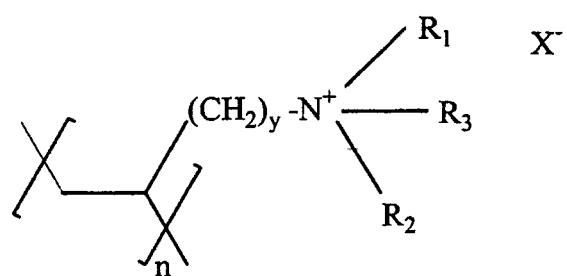
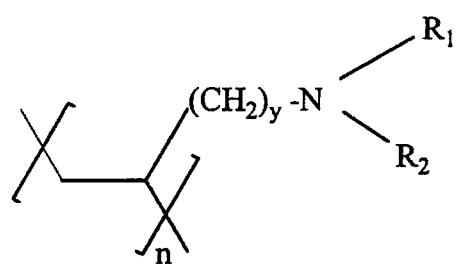
【請求項 18】

ポリマーが、

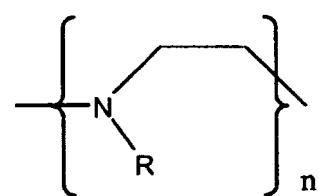
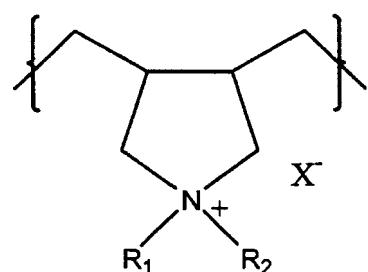
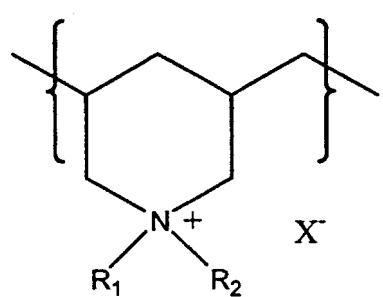
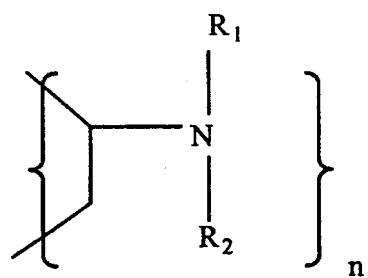
【化5】



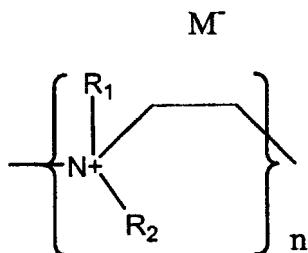
【化 6】



【化7】



## 【化8】



式中、 $n$  は正の整数であり、 $y$  および  $z$  は 1 以上の整数であり、 $R$ 、 $R_1$ 、 $R_2$  および  $R_3$  が独立して H または置換もしくは非置換のアルキル、アルキルアミノまたはアリール基である  
、からなる群より選ばれる式を有する繰り返し単位ならびにその塩およびコポリマーにより特徴づけられる請求項 1 5 記載の医薬組成物。

## 【請求項 1 9】

前記ポリマーが多官能性架橋剤により架橋される請求項 1 8 記載の医薬組成物。

## 【請求項 2 0】

多官能性架橋剤が、モノマーおよび架橋剤の合わせた重量に基づいて、0.5 ~ 25 重量 % の量で存在する請求項 1 9 記載の医薬組成物。

## 【請求項 2 1】

多官能性架橋剤が、モノマーおよび架橋剤の合わせた重量に基づいて、2.5 ~ 20 重量 % の量で存在する請求項 1 9 記載の医薬組成物。

## 【請求項 2 2】

架橋剤がエピクロロヒドリンを含む請求項 1 9 記載の医薬組成物。

## 【請求項 2 3】

ポリマーがホモポリマーである請求項 1 9 記載の医薬組成物。

## 【請求項 2 4】

ポリマーがポリアリルアミンである請求項 1 9 記載の医薬組成物。

## 【請求項 2 5】

ポリマーがポリジアリルアミンである請求項 1 9 記載の医薬組成物。

## 【請求項 2 6】

ポリマーがポリビニルアミンである請求項 2 2 記載の医薬組成物。

## 【請求項 2 7】

各式の  $R$ 、 $R_1$ 、 $R_2$  および  $R_3$  の少なくとも 1 つが水素である請求項 1 8 記載の医薬組成物

。

## 【請求項 2 8】

非ステロイド性抗炎症薬物と共に投与される請求項 1 8 記載の医薬組成物。

## 【請求項 2 9】

非ステロイド性抗炎症性薬物がコルヒチンを含む請求項 2 8 記載の医薬組成物。

## 【請求項 3 0】

尿酸合成インヒビターと共に投与される請求項 1 8 記載の医薬組成物。

## 【請求項 3 1】

尿酸合成インヒビターがキサンチンオキシダーゼインヒビターを含む請求項 3 0 記載の医薬組成物。

## 【請求項 3 2】

キサンチンオキシダーゼインヒビターがアロプリノールを含む請求項 3 1 記載の医薬組成物。

**【請求項 3 3】**

尿酸排泄剤と共に投与される請求項 1 8 記載の医薬組成物。

**【請求項 3 4】**

1 つ以上の食事とともに投与される請求項 1 8 記載の医薬組成物。

**【請求項 3 5】**

セベラマー塩化水素を含む、尿酸を結合するための医薬組成物。

**【請求項 3 6】**

コレセベラムを含む、尿酸を結合するための医薬組成物。

**【請求項 3 7】**

尿酸過剰血症、痛風、過剰尿酸尿症、尿酸腎症または腎石症の治療目的のための医薬の製造のための尿酸またはその前駆体に結合する少なくとも 1 つのアミンポリマーの使用。